

(品質管理関係)

様式 5 - 1

$\bar{X}$ - R 管 理 デ - タ シ - ト

工 事 名 _____ 受注会社名 _____
工 種 名 (名 称) _____ 測 定 者 _____
項目名(品質特性) _____ 作 成 者 _____

設 計 基準値 A	規格値 限 界		測 定 単 位	日 標 準 量	
	上 限	下 限		資 料	大 き さ
	+	-		間 隔	
				作 業 機 械 名	

月日	測 点	組番 の号	測 定 値			計 ΣX	平均値 $\bar{X}$	範囲 R			
			X_1	X_2	X_3						
		1							平均 $\bar{X}$ $\bar{R}$ 累計		
		2									
		3									
		4									
		5									
小計									小計		
		6							平均 $\bar{X}$ $\bar{R}$ 累計		
		7									
		8									
		9									
		10									
小計									小計		
		11							平均 $\bar{X}$ $\bar{R}$ 累計		
		12									
		13									
		14									
		15									
		16									
		17									
		18									
		19									
		20									
小計									小計		

(注)

1. 管理限界線の引直しは、5-5-10-20方式による。
2. 21組から40組までは別のデータシートに記入する。以下、20組ごとに同様とする。

記
事

記
入
要
領

1. 「項目名」はコンクリート(セメントの物理試験)、道路工(含水量試験)等の品質特性を記入する。
2. 「月日」の欄は測定年月を記入する。
3. 「番号」の欄はSTA又はロット番号である。
4. 「測点」の欄は当該測点番号を記入する。

n	d_2	A_2	D_4
2	1.13	1.88	3.27
3	1.69	1.02	2.57
4	2.06	0.73	2.28
5	2.33	0.58	2.11

Ⅹ - R 管 理 デ - タ シ - ト

工 事 名	受注会社名
工 種 名 (名 称)	測 定 者
項目名(品質特性)	作 成 者

設計基準値 A	規格値 限界		測定 単位
	上限	下限	
	+	-	

日 標 準 量		
資 料	大 き さ	
	間 隔	
作 業 機 械 名		

[illegible]

特記

(注) 1. 管理限界線の引直しは、5-5-10-20-20方式による。
2. 21組から40組までは別のデータシートに記入する。以下、20組ごとに同様とする。

記入要領

1. 「項目名」はコンクリート(セメントの物理試験)、道路工(含水量試験)等の品質特性を記入する。
2. 「月日」の欄は測定年月を記入する。
3. 「番号」の欄はSTA又はロット番号である。
4. 「測点」の欄は当該測点番号を記入する。

n	d_2	A_2	D_4
2	1.13	1.88	3.27
3	1.69	1.02	2.57
4	2.06	0.73	2.28
5	2.33	0.58	2.11

X-Rs-Rm 管理データシート

名 称		工 事 名		測定 自		年 月 日	
品質・特性		事業所名		期間 至		年 月 日	
測定単位		日標準量		受注会社名			
規格 限界	上限値	試料	大きさ	現場代理人			
	下限値		間隔	測定者			
設計基準値		作業機械名		作成者			

月日	試験 番号	測定 値				計 Σ	平 均 X	移 動 範 囲 Rs	測 定 値 内 囲 Rm	$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$			
		a	b	c	d					$D_4 \cdot \bar{R}_s =$			
	1								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	2												
	3									X	Rs	Rm	
	4								平均	$\bar{X} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	5								累計				
	小計								小計				
	6								$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	7								$D_4 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	8								平均	$\bar{X} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	小計								累計				
									小計				
	9								$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	10								$D_4 \cdot \bar{R}_s =$				
	11								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	12								平均	$\bar{X} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	13								累計				
	小計								小計				
	14								$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$				
	15								$D_4 \cdot \bar{R}_s =$				
	16								$D_4 \cdot \bar{R}_m =$				
	17												
	18												
	19								平均	$\bar{X} =$	$\bar{R}_s =$	$\bar{R}_m =$	
	20								累計				
	小計								小計				
記 事									n	d ₂	D ₄	E ₂	
									2	1.13	3.27	2.66	
									3	1.69	2.57	1.77	
									4	2.06	2.28	1.46	
									5	2.33	2.11	1.29	

注) 1. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。

2. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。

(備考) ————— 管理限界計算のための予備データの区間を示す。

----- 上記の管理限界を運用する区間を示す。

3. 以下、最近20個(平均値 $\bar{x}$ を1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。

X - Rs - Rm 管理データシートの2

月日	試験 番号	測 定 値 計					平 均 値 X	移 動 範 囲 Rs	測 定 値 内 の 範 囲 Rm	
		a	b	c	d	Σ				
										$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_m =$
										平均 $\bar{X} =$ $\bar{R}_s =$ $\bar{R}_m =$ 累計 小計
										$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_m =$
										平均 $\bar{X} =$ $\bar{R}_s =$ $\bar{R}_m =$ 累計 小計
										$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_m =$
										平均 $\bar{X} =$ $\bar{R}_s =$ $\bar{R}_m =$ 累計 小計
										$\bar{X} \pm E_2 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_s =$ $D_4 \cdot \bar{R}_m =$
										平均 $\bar{X} =$ $\bar{R}_s =$ $\bar{R}_m =$ 累計 小計
記 事										n d_{31} D_4 E_3 2 1.13 3.27 2.66 3 1.69 2.57 1.77 4 2.06 2.28 1.46 5 2.33 2.11 1.29

注) 1. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。

(備考) ————— 管理限界計算のための予備データの区間を示す。
 ----- 上記の管理限界を運用する区間を示す。

2. 以下、最近20個(平均値 $\bar{x}$ を1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。

